



報道関係各位

2017年2月14日

東京経済大学ニュース

Vol. 07

東京経済大学ホームページ : <http://www.tku.ac.jp/>

CONTENTS

特集1 「東経大チャレンジ2020」の策定

～チャレンジする大学と学生—『はじめて物語』の創造～

特集2 創立120周年記念事業と寄付金募集について

～教育研究・設備を充実させるほか120年史の編纂も実施～

創立120周年記念ロゴが完成



東経大インフォメーション

① 一般入試前期出願速報

2015年度以降、3年連続で志願者が増加

② 第55回高等学校選抜卓球大会 in 多摩

今年度も開催。大学主催の伝統ある卓球大会

③ 「ゼミする、東経大」ゼミ研究報告会開催

さまざまな質問や意見を受けながらの活気に満ちた報告会

④ 2016年度 東京経済大学体育会年間表彰式

最優秀賞にサッカー部と陸上競技部山田真樹さん

⑤ 2016年法学検定試験で合格率1位・合格者数2位

東京経済大学が優秀団体に選出

⑥ 体育会サッカー部の川畑悠吾さんが、カンボジアタイガーFC入団

「優勝のために気持ちを出して走る」と意気込みを語る

⑦ その他

大倉喜八郎記念東京経済大学学術芸術振興会学術講演会開催「沈みゆく大国

アメリカ～逃げ切れ！日本の医療～」／武蔵村山キャンパス公開講座／

東京経済大学・多摩信用金庫共同シンポジウム「中小企業の稼ぐ力と支援力」

特集1 「東経大チャレンジ2020」の策定

～チャレンジする大学と学生—『はじめて物語』の創造～



東京経済大学 学長 堺 憲一

2014年4月に学長に就任して以来、大きな目標のひとつとして、東京経済大学が進むべき方向性を明確にするために「教学ビジョン」の策定を掲げてきました。2016年秋にまとめた教学ビジョン「東経大チャレンジ2020」について説明いたします。

「東経大チャレンジ2020」がめざすもの

ビジョン「東経大チャレンジ2020」のめざすところは二つあり、ひとつは、「エデュケーション」「キャリア」「サポート」「キャンパス」という4つのクオリティの向上を通じて「チャレンジする大学」をつくりあげていくこと。もうひとつは、4つのクオリティの向上を通して「チャレンジする学生」を育成していくことです。

チャレンジする大学 「はじめて物語」の創造	
エデュケーション・クオリティ 自ら学ぶ、ゼミする東経大	生徒から学生へ！ 基礎力育成の初年次教育
	視野を広げる！ 全学共通の多様な教養教育
	4つの学部で！ 社会科学系の充実した専門教育
	アウトプットを生み出す！ ゼミナールとワークショップ
	学内でWスクール！ 正課授業と資格取得講座
	基礎力をつける！ ベーシックプログラム
	プロフェSSIONALを目指す！ アドバンスプログラム



キャリア・クオリティ 安心の、就職力。	キャリア意識を高める！ 特色あるキャリア形成科目
	社会人基礎力と持続的就業力を！ 進一層科目群
	2年次からの学部選択！ キャリアデザインプログラム
	就業体験！ 学部授業・地域連携などでのインターンシップ
	海外で学ぶ！ 海外ゼミ研修、短期語学研修、長期留学
	資格取得！ 専門学校と提携したキャリア・サポートコース
	1年生から始まる就職行事！ 年間 750 回の多彩な行事
サポート・クオリティ 自立を促す、多様な支援	経済支援！ 充実した奨学金・授業料減免
	修学支援！ 学習センターの相談員による個別相談
	生活支援！ 学生相談室の専門家など充実した相談体制
	就職支援！ キャリアセンターの学生全員面談
	目的に応じた支援！ グローバルラウンジ、教職ラウンジ
	父母の会による支援！ 奨学金・助成金・表彰制度
	卒業生による支援！ 業界別・地域別就職支援、奨学金
キャンパス・クオリティ 環境との共生、地域社会との連携	環境意識を育む！ エコキャンパス宣言
	自然を保護する！ 国分寺キャンパス
	充実した運動施設！ 武蔵村山キャンパス
	最新の学習設備！ アクティブラーニング対応の図書館
	多目的ホール、大学史料展示！ 大倉喜八郎 進一層館(フォワードホール)
	地域社会との連携！ 地域連携センター
	都心のキャンパス！ 大手町サテライト

チャレンジする学生 学生たちの「はじめて物語」	
東経大エクスペリエンスの実践	学問を修める！ 授業で学ぶ、社会・自然・人間を知る
	得意分野をつくる！ 知識を深める、スポーツや文化活動を究める
	好奇心を広げる！ 見聞を広める、イベントに参加する、友人関係を広げる
	成果をまとめる！ レポートをまとめる、プレゼンを行う、卒業論文・卒業制作に挑む
	外国を経験する！ グローバルラウンジを利用する、海外ゼミ研修に参加する、短期留学・長期留学に挑む
	ボランティアに挑む！ ボランティアに参加する、地域で活動する、まちおこしに挑む
	資格をめざす！ キャリア・サポートコースを受講する、アドバンスプログラムに挑む

ひと言でいえば、「チャレンジする大学と学生—『はじめて物語』の創造」をめざすという点に集約されます。「チャレンジ」という言葉は建学の精神である「進一層^{しんいつそう}」に由来しており、本学の前身・大倉商業学校創設者である大倉喜八郎が、チャレンジ精神旺盛なパイオニアとしてさまざまな分野で「日本初」を創造してきたこと、そして卒業生や教職員、学生たちもまた多くの「日本初」もしくは先駆的なトライアルという、いわば「はじめて物語」を演出してきた歴史と伝統を有していることから、この言葉を使用しています。

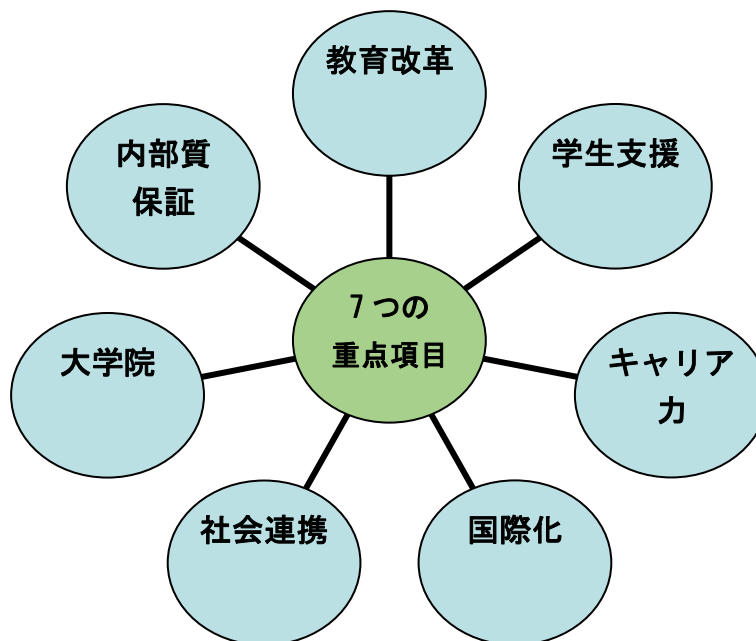
ここで想定する学生のチャレンジとは、入学した学生たちが、学びや課外活動を通じてさまざまな「はじめて」を経験し、「入学前（ビフォー）」から「卒業後（アフター）」へと大きく成長していく姿です。ビジョンで挙げることの大半は、社会人にとってごく当たり前のことかもしれません。しかし初めて取り組む学生にとっては、多くが「未知の世界」なのです。

学生の心の中は、大海に漕ぎ出す船乗りのように希望と不安が入り混じっていることでしょう。学生たちの『はじめて物語』には、彼らの成長を支えていくという本学の心意気・基本姿勢が投影されているのです。

「東経大チャレンジ 2020」の内容

「東経大チャレンジ 2020」は、現在の大学の特徴をまとめた「4つのクオリティ」、前項で述べた学生たちの「はじめて物語」、下図に示す大学改革のための「7つの重点項目」で構成されます。

4つのクオリティでは「エデュケーション・クオリティ—自ら学ぶ、ゼミする東経大」、「キャリア・クオリティ—安心の、就職力。」、「サポート・クオリティ—自立を促す、多様な支援」、「キャンパス・クオリティ—環境との共生、地域社会との連携」の4つを取り上げ、それぞれ7つのチャレンジ項目をあげました。





たとえば、エデュケーション・クオリティでは初年次教育、教養教育、専門教育、ゼミナール、資格取得、ベーシックプログラム、アドバンスプログラム等の7項目で、これらについて現状を客観的に分析し、課題を洗い出して改革を実行します。4つのクオリティは本学の誇る特質ですが、これをより魅力的なものとし、本学のさらなる発展に役立てるのです。

7つの重点項目は、大学が直面するさまざまな課題に大学全体で取り組むための大目標で、2017年4月に誕生する「キャリアデザインプログラム」もその成果の一端といえます。「学生支援」では「教職ラウンジ」の新設や学生相談室の充実、また「キャリア力」では、社会人基礎力と持続的就業力を身に付ける進一層科目群を2017年4月にスタートさせます。「国際化」では国際化推進戦略会議を設ける一方、グローバルラウンジ「コトパティオ」を開設。「社会連携」では地域連携センターを開設し、シンポジウムや共同研究など産学連携の試みを進め、「大学院」では中国の有力大学との協定を進めて優秀な留学生の受け入れに注力しています。そして「内部質保証」では、大学の活動を点検改善するPDCAサイクルを働かせることで大学の質的充実に取り組んでいます。

特集2 創立120周年記念事業と寄付金募集について

～教育研究・設備を充実させるほか120年史の編纂も実施～

東京経済大学は2020年、前身の大倉商業学校創立から120周年を迎えます。本学はこの120周年を節目に、教育・研究の一層の充実と、そのために必要となる施設の整備を計画し、さらなる発展の基礎を築きたいと考えています。

2007年度には「TKUチャレンジシステム」をスタートさせ、2017年4月、本学の教育とキャリア支援の集大成ともいえる「キャリアデザインプログラム」を開始。東京経済大学への関心が、ますます高まるのではないかと考えます。

設備面では、自然との共生をテーマに環境に配慮した新5号館が2012年4月に竣工し、2014年4月には新図書館が建設され、学生たちの学びの空間がより充実したものとなりました。植物との共生を図った特徴的な外観と、光あふれる室内空間を持つこの二つの建物は、良質な学校施設として高い評価を受け「グッドデザイン賞」を受賞しました。

このように、本学は「チャレンジする大学」「面倒見の良い大学」「就職に強い大学」として独自の地位を築いてまいりましたが、創立120周年を機に、教育・研究面、設備面においてさらなる強化を図り、本学の一層の発展のための基礎をつくりたいと決意しています。

このため、2017年2月から2021年3月にわたり、総事業費90億円の120周年記念事業と総額20億円の寄付金募集を行うことを決定しました。記念事業として、教学ビジョン「東経大チャレンジ2020」に基づき教育研究の充実を図るほか、施設面では国分寺キャンパス第2期整備



事業として、「新葵陵会館（仮称）」「新教育研究棟（仮称）」「新研究棟（仮称）」などの建設と、新次郎池周辺整備などを計画し、さらに120年史の編纂や各種記念行事を実施いたします。

創立120周年記念事業計画の概要

教育研究の充実	教学ビジョン「東経大チャレンジ2020」に基づく改革
施設・設備の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・国分寺キャンパス第2期整備事業 ・「新葵陵会館（仮称）」「新教育研究棟（仮称）」「新研究棟（仮称）」の建設 ・新次郎池周辺整備 ・防災井戸の掘削
記念出版	『東京経済大学120周年史』の編纂（通史編、資料編、普及版の発刊）
記念事業・行事	<ul style="list-style-type: none"> ・駅伝大会での活躍を支援 ・学部主催記念事業・行事（現代法学部開設20周年記念行事を含む） ・『学生たちのはじめて物語』（2017年度入学生の成長の記録を映像化） ・『はじめて物語』（大倉喜八郎、東京経済大学、教職員、卒業生、在学生の『はじめて物語』を書籍化） ・「国際学生セミナー・国際ワークショップ」の開催 ・「地域と環境の再生と発展—多摩・東京・世界—」、特別授業、シンポジウム、記念出版
記念式典	ホテルオークラ東京で開催（2020年10月予定）
資金計画の概要	総事業費90億円／寄付金20億円

創立120周年記念ロゴが完成

3年後となる2020年、東京経済大学は創立120周年を迎えます。120周年を迎え、またさらに発展していくイメージで「Tokyo Keizai University」の頭文字をあしらい、新しいロゴをデザインしました。





東経大インフォメーション

Information 1

一般入試前期出願速報

2015 年度以降、3 年連続で志願者が増加

2017 年度一般入試前期、センター利用入試前期の志願者は合計 12,027 名となり、2014 年度が 8,972 名であったのに対し、2015 年度は 10,141 名、2016 年度は 10,352 名と、3 年連続の志願者増となりました。

一般入試前期

学部等	学科等	2017 年度		2016 年度		
		募集人員	最終志願者数	最終志願者数	合格者数	
経済学部	経済学科 国際経済学科 (2 学科一括募集)	230	2 教科型①	299	338	105
			2 教科型②	233	—	—
			3 教科型	1,371	1,007	315
			ベスト 2 型	736	521	161
経営学部	経営学科 流通マーケティング学科 (2 学科一括募集)	250	2 教科型①	238	392	97
			2 教科型②	225	—	—
			3 教科型	1,133	981	238
			ベスト 2 型	505	713	164
コミュニケーション学部	コミュニケーション学科	80	2 教科型①	101	130	37
			2 教科型②	73	—	—
			3 教科型	364	223	68
			ベスト 2 型	214	118	40
現代法学部	現代法学科	95	2 教科型①	99	147	49
			2 教科型②	60	—	—
			3 教科型	380	360	115
			ベスト 2 型	264	235	72
キャリアデザインプログラム		25	2 教科型①	18	—	—
			2 教科型②	19	—	—
			3 教科型	80	—	—
			ベスト 2 型	50	—	—
合計		680	6,462	5,165	1,461	

※キャリアデザインプログラムは 2017 年度入試から実施。募集人員は 4 学部の定員に含む。

※2 教科型①は「英＋国型」、2 教科型②は「英＋国・数選択型」。2 教科型②「英＋国・数選択型」は、2017 年度入試から実施。



センター利用入試前期

学部等	学科等	2017 年度		2016 年度		
		募集人員	最終志願者数	最終志願者数	合格者数	
経済学部	経済学科 国際経済学科 (2 学科一括募集)	65	2 教科型	749	811	264
			3 教科型	1,396	1,211	407
経営学部	経営学科 流通マーケティング学科 (2 学科一括募集)	65	2 教科型	590	722	200
			3 教科型	1,229	1,181	345
コミュニケーション学部	コミュニケーション学科	25	2 教科型	307	193	79
			3 教科型	396	271	103
現代法学部	現代法学科	30	2 教科型	230	323	107
			3 教科型	412	475	172
キャリアデザインプログラム		10	2 教科型	105	—	—
			3 教科型	151	—	—
合計		195		5,565	5,187	1,677

※キャリアデザインプログラムは 2017 年度入試から実施。募集人員は 4 学部の定員に含む。

Information 2

第 55 回高等学校選抜卓球大会 in 多摩

本年度も開催。大学主催の伝統ある卓球大会

東京経済大学が主催し、本学体育会卓球部が運営する「第 55 回高等学校選抜卓球大会 in 多摩」が 2017 年 1 月 8 日（日）、本学の 100 周年記念館で開催されました。

国分寺市も協賛するこの大会は 1962 年、本学卓球部 OB が近隣の高校を招待して「多摩地区高校選抜大会」としてスタートし、第 50 回以降は参加校の対象地域を広げ、名称も現在使用されている「高等学校卓球大会 in 多摩」に変更。現在は学生が OB 会と協力して運営にあたっています。55 年目を迎えた本年度は、200 名（男子 38 校 139 名、女子 24 校 61 名）が参加しました。



昨年度の主将は「大会の開催をコーディネートするのは、10年間の競技人生で初めての経験でした。運営に携わったことで、準備に当たられる人に対し初めて感謝の念を抱けるようになりました」と話すなど、技能的な部分はもとより学生たち自身の成長につながるとともに、大学と地域の皆さまを繋ぐ重要な大会と考えています。



第55回高等学校選抜卓球大会 in 多摩 主な結果

男子	優勝	小池皓（湘南工科大学附属高校）
	準優勝	高橋聖龍（青藍泰斗高校）
	3位	相沢龍士（埼玉栄高校）、松本累（早稲田実業高等部）
女子	優勝	菊池紗央里（大成女子高校）
	準優勝	山口楓香（星野高校）
	3位	田中菜々帆（埼玉栄高校）、宇賀神いずみ（文化学園大学杉並高校）

Information 3

「ゼミする、東経大」ゼミ研究報告会開催

さまざまな質問や意見を受けながらの活気に満ちた報告会

東京経済大学では150近いゼミが活発な研究活動を行っており、「ゼミする、東経大」としてJR中央線窓上で2年にわたりさまざまなゼミを紹介しています。

昨年11月から12月にかけて、4つの学部と全学共通教育センター(総合教育)の各ゼミが研究成果を発表する「ゼミ研究報告会」が行われると、来年度のゼミを選択する1年生や現役高校生も情報収集を行うため多く集まり、各報告会は活気に満ちたものとなりました。

■経済学部

「雇用条件と労働問題」「イノベーション、新ビジネスモデル」「格差問題、地域再生」「世界経済、開発経済、資源エネルギー」と4つのテーマに分かれ、14のゼミから全56チームが研究報告を行いました。

「格差問題、地域再生」をテーマとして報告を行ったゼミは、イノベーターとクリエイターの共通性について発表し、大手企業の創業者や著名なプロデューサーの考え方、経営戦略を例に挙げ、「イノベーションにおいて重要なのは独自の着眼点や既存技術の組み合わせ、そしてプロモーション、共創性である」と結論付けました。



経済学部の報告会風景

■経営学部

経営学部の報告会では、21ゼミから70チームが参加。広告論を学ぶゼミは、料理教室の広告コミュニケーション計画として「男性も通える料理教室」をテーマにアンケートを行い、その結

果をもとに具体的な提案を行いました。

情報管理論を研究するゼミはソーシャルゲームについての研究結果を報告し、依存性の高さやユーザー間のトラブルを課題として挙げ、これらを解決するための機関設立を提案しました。



経営学部の報告会風景

■コミュニケーション学部

コミュニケーション学部では11のゼミが発表を行いました。社会調査を行っているゼミは「テレビをよく見る人は、あまり見ない人に比べて新商品をよく購入する」という仮説のもと、国分寺市内で調査活動を行い、回収したアンケートに基づき検証作業を行っていることを報告。

報告を行った学生は「仮説を立証するための設問で、細かい選択肢の設定が難しかった。得られた回答を見るとさまざまな考えを知る楽しさがある」と述べました。

■現代法学部

11ゼミが参加した現代法学部では、福祉に関する研究を行うゼミが「デンマーク国民の生活と福祉サービス」というテーマで報告を行いました。夏季休暇期間中に海外ゼミ研修として実際にデンマークを訪問し、現地の企業や団体、個人に対して聞き取り調査を実施。「デンマークでは障がい者と健常者が平等に暮らす社会の実現を目指す考え方である『ノーマライゼーション』が尊重されている」と発表しました。

■全学共通教育センター

自然科学やスポーツなど幅広い教養科目がある総合教育演習の報告会では、11ゼミ19チームが報告を行いました。ジェンダー論を研究するゼミでは、生涯未婚率が上昇し続けていることを受け「若年層の結婚観を探る」というテーマを設定し、インタビュー結果をもとに報告を行いました。報告を聞いた来場者からは、「結婚式を他人のためにあげるという声があったが、自分のためという意見はなかったか」という質問や意見が活発に飛び交うなど、報告者だけでなく聴衆も参加することで、より理解が深まる報告会となりました。

Information 4

2016年度 東京経済大学体育会年間表彰式

最優秀賞にサッカー部と陸上競技部山田真樹さん

2016年度の東京経済大学体育会年間表彰式が2017年1月7日（土）に行われ、最優秀団体賞である「学長賞」をサッカー部が、最優秀個人賞である「父母の会会長特別賞」を陸上競技部の山田真樹さん（コミュニケーション学部1年）がそれぞれ受賞しました。

サッカー部は昨年、東京都大学サッカー連盟リーグ戦1部において1部昇格からわずか1年で12勝4敗2分という好成績で初優勝を果たして関東大学サッカー大会への出場権を獲得し、昇格決定戦まで駒を進めたことが評価されました。昇格決定戦では惜しくも敗れたものの、今後の活躍が期待されます。

陸上競技部の山田さんは、ブルガリアで行われた世界ろう者選手権大会において200mを21秒93で走り2位に入賞。400mでは世界ろう者ジュニア新記録の48秒25を記録して2位となったほか、リレー2種目を含め4つのメダルを獲得しました。また、日本ろう者選手権大会においては100m競技で10秒83を記録して2位、200mでは日本ろう者新記録の21秒71で優勝するなど、素晴らしい成績を収めたことが評価されました。

優秀団体賞である「体育会会長賞」は、第86回全日本大学総合卓球選手権大会団体の部において、創部以来初の男女同時出場を果たした卓球部が受賞。また優秀個人賞の「^{きゆうかい}葵友会賞」は、東京都大学サッカー連盟リーグ戦1部において最優秀選手賞を受賞し、さらにアシストラランキング1位にも輝くなど本学優勝の大きな原動力となったサッカー部の高橋勇太さん（現代法学部3年）、最優秀新人賞の「葵体育会賞」は、昨年4月に行われた関東オープンソフトテニス大会において1、2年生のペアながらベスト16入りを果たし、5月の関東学生ソフトテニス選手権大会においても創部以来女子最高位の準優勝となったソフトテニス部の渋谷真由子さん（経営学部1年）と長島朋香さん（経営学部2年）が選ばれました。



関東大学サッカー大会への出場権を獲得するなど、輝かしい結果を残し「学長賞（最優秀団体賞）」を受賞したサッカー部。



Information 5

2016 年法学検定試験で合格率 1 位・合格者数 2 位

東京経済大学が優秀団体に選出

2016 年 11 月 27 日に実施された 2016 年法学検定試験において、東京経済大学はスタンダード（中級）コースの団体賞で合格率 1 位、合格者数 2 位の成績を修め、法学検定試験委員会から表彰を受けることとなりました。

本年度は 42 名が法学検定試験スタンダードコースを受験し、35 名が合格。そのうち 17 名が専門学校と提携し、プロによるリーズナブルな料金の授業を学内で受けることができる「キャリア・サポートコース」の受講者でした。また合格者の中には、少数精鋭で高度な資格にチャレンジするアドバンスプログラムのひとつ「法プロフェッショナルプログラム」に所属する学生もおり、正課と課外それぞれの制度を生かし学びを深めたことで、合格をより確実なものとしたといえます。

「法学検定試験」は、公益財団法人日弁連法務研究財団と公益法人商事法務研究会が共同で組織する法学検定委員会が実施している、法学全般に関する唯一の検定試験です。法学に関する学力を客観的に評価する試験として、企業の入社・配属時の参考資料等にも活用されています。

Information 6

体育会サッカー部の川畑悠吾さんが、カンボジアンタイガーFC 入団

「優勝のために気持ちを出して走る」と意気込みを語る

東京経済大学体育会サッカー部の川畑悠吾さん（経済学部 4 年）が、カンボジアのプノンペンに本拠を置くカンボジアンタイガーFC に新加入すると、クラブホームページ上で発表されました。

川畑さんは 3 年次に主将を務め、部を東京都大学サッカーリーグ 2 部優勝に導き、本年度のサッカー部躍進の原動力となった選手です。

加入が決まったカンボジアンタイガーFC は 2013 年に設立され、現在はカンボジアの 1 部「C リーグ」に所属する日系クラブです。

公式ホームページでは、クラブから「技術面だけでなく、サッカーに対する熱い気持ちをカンボジア人選手と共有してほしい」とエールが送られ、川畑さんは「タイガー優勝のために気持ちを出して走ります！ 応援よろしくお願ひ致します！」とコメントしています。

Information 7 その他

●大倉喜八郎記念東京経済大学学術芸術振興会 学術講演会開催 沈みゆく大国アメリカ ～逃げ切れ！日本の医療～



ニューヨーク市立大学大学院国際関係論学科修士号を取得し、日米各種メディアで執筆や講演活動を行っている国際ジャーナリストの堤未果さんが、2月18日（土）に東京経済大学 国分寺キャンパスで学術講演会「沈みゆく大国アメリカ～逃げ切れ！日本の医療～」を行います。

巨大化したウォール街と多国籍企業の最強タッグがマスコミと政治を手に入れ支配する株式会社国家アメリカが、次に狙いを定める市場は日本。保険証一枚あれば誰でも医療が受けられる、世界でも希少な「日本の宝」とも言うべき医療制度に魔の手が伸び、私たち日本人の「いのち」と「老後」が投資商品化されようとしている現実に、堤さんが警鐘を鳴らします。

開催日程	2月18日（土） 15：00開演（14：30開場）
会場	東京経済大学 国分寺キャンパス 2号館 B301 教室
参加費	無料 ※事前申込制
申込方法	本学ウェブサイトで受付（電話での申し込みは受け付けておりません） 〒185-8502 東京都国分寺市南町 1-7-34 東京経済大学 広報課 ウェブサイト： http://www.tku.ac.jp/
申込締切	2月14日（火） ※ただし定員に達し次第、締め切らせていただきます。
定員	先着 400名 ※申込順に予約券を発送いたします。
主催	東京経済大学・大倉喜八郎記念東京経済大学学術芸術振興会



●武蔵村山キャンパス公開講座 受講者募集のお知らせ

第1回

地球は暑くなっているーパリ協定の意義ー

講 師：福士正博(ふくし・まさひろ) 本学経済学部教授・副学長

開催日程：3月4日(土) 14:00~16:00

温暖化問題に対する国際協力のあり方が、2020年以降大きく変わります。これまでは「COP3」(1997年)で合意した京都議定書に沿って国際的な温暖化対策が行われてきましたが、大きな欠点を抱えていたために、抜本的な改革が求められていたからです。それをまとめたのが「COP21」(2015年)で合意したいわゆる「パリ協定」です。講義では、この協定の意義を取り上げます。

第2回

グローバル社会の英語と日本人～私たちは英語とどう付き合えばよいのか～

講 師：小田登志子(おだ・としこ) 本学経済学部准教授

開催日程：3月11日(土) 14:00~16:00

グローバル社会になったといわれて久しい今日ですが、いまだに多くの方が英語を中心とする言葉の壁に苦勞しています。こんな時代に私たち日本人はどうしたらよいかなど、言語学の観点から、英語と上手に付き合うヒントをテーマとした講座です。

第1回、第2回公開講座の詳細

開催日程	第1回 3月4日(土) 14:00~16:00 第2回 3月11日(土) 14:00~16:00
会 場	東京経済大学武蔵村山キャンパス(東京都武蔵村山市学園5-22-1) 本部棟4階41番教室
参加費	無料 ※事前申込制
申込方法	本学ウェブサイトで受付(電話での申し込みは受け付けておりません) 〒185-8502 東京都国分寺市南町1-7-34 東京経済大学 広報課 ウェブサイト： http://www.tku.ac.jp/
定 員	各先着200名



●東京経済大学・多摩信用金庫共同シンポジウム

中小企業の稼ぐ力と支援力

～企業と支援機関のパートナーシップによる価値共創～

昨今、市場環境や産業構造が大きく変化し、苦境にあえぐ企業も多い中、海外への販路開拓や新分野への進出、ビジネスモデルの転換等を図ることで、厳しい環境下でも成長を続けている企業が存在します。そういった企業が優れた経営手腕や革新的な技術を有しているのはもちろんですが、より特筆すべきこととして、支援機関と緊密な連携を図ることで、より素早く効果的に事業を前進させている点が挙げられます。

本シンポジウムでは成長企業の新たな動きとともに支援機関との協力関係に着目し、事例を紹介することで、支援機関の重要性と効果的な支援手法についてお伝えします。

第1部 事例報告

事例報告1「下請けから自立へ 新規事業への挑戦」

永進テクノ株式会社 代表取締役 鈴木道雄氏

相模原市環境経済局経済部産業政策課 担当課長 渡辺誠治氏

事例報告2「ドイツへの国際展開支援とさいたま中小企業の“稼ぐ力”」

株式会社華光 代表取締役社長 木田和寿氏

公益財団法人さいたま市産業創造財団 支援・金融課 北村咲子氏

第2部 会場とのディスカッション

「今、企業は何を考え、どのような支援を望んでいるか」

コーディネーター：山本聡（東京経済大学 経営学部 准教授）

開催日程	2017年2月24日（金）14：00～17：00
会場	東京経済大学 国分寺キャンパス 5号館2階 E201教室
参加費	無料
申込方法	下記メールアドレスに必要事項をご記入の上お申し込みください。 【必要事項】 題名：「シンポジウム参加」とご記入ください。 本文：参加される方のお名前、ご所属、役職をご記入ください。 【メールアドレス】 yoshiki.motoyama@tamashin.net
申込締切	2月21日（火）
問い合わせ	多摩信用金庫 地域連携支援部 担当：本山 TEL:042-526-7764 （平日9：00～17：00）



【東京経済大学 総合企画部 広報課】

〒185-8502 東京都国分寺市南町 1-7-34

TEL: 042-328-7724 FAX: 042-328-7768 email: pr@s.tku.ac.jp